

Elazzio

SEAT COVER



SUZUKI
HUSTLER

MAZDA
FLAIR CROSS OVER

専用シートカバー取付説明書

Elazzio

SEAT COVER

このたびは「Elazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

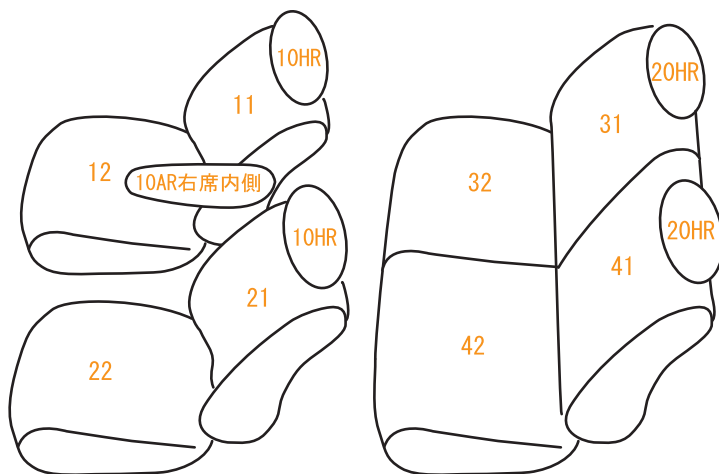
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 1P~2P
警告 サイドエアバッグについて	…> 3P~4P
1 列目運転席座面の装着方法	…> 5P~7P
1 列目助手席座面の装着方法	…> 8P
1 列目背もたれの装着方法	…> 9P~11P
2 列目座面の装着方法	…> 12P~14P
2 列目背もたれの装着方法	…> 15P~17P
ヘッドレストの装着方法	…> 18P~19P
アームレストの装着方法	…> 20P
ひもの結び方	…> 21P
完成図	…> 22P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 23P~24P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ (10mm/12mm) ※商品番号6065の車は10mmのソケットは使用しません
- ② プラスドライバー
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地が硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。

3P ▶



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

1 列目運転席座面の装着方法



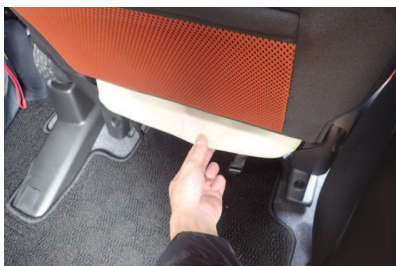
- 1** 始めに、シートを一番高い位置に調節します。



- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
※背もたれの角度を調節して、入れ込みやすい角度で行ってください。



- 2** シートのラインに合わせて、カバーをかぶせます。



- 5** 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



- 3** シートリフターレバーの隙間に生地を通します。



- 6** カバー外側面の生地裏に付いているマジックテープ（図の指で押さえている方）を、シートに直接貼り付けて固定します。内側面も同様に行います。



- 7** シート外側面のシート表皮を、プラスチックカバーから引き出します。
内側面も少し形状は異なりますが、同様に行います。



- 10** ヘラ等を使用し、外側面のカバーの端をプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。
※隙間は狭い為、無理やり押し込まず、入るところまで入れるようにして下さい。



- 8** カバー外側面の生地フチに付いているマジックテープを、引き出したシート表皮に直接貼り付けて固定します。
内側面も同様に行います。



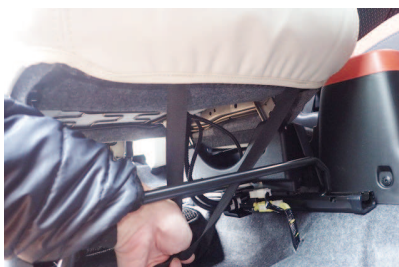
- 11** 内側面の付け根の生地に付いているマジックテープを、シート（シートベルトバックルの付け根辺り）に直接貼り付けて固定します。



- 9** 7番で引き出したシート表皮を、生地と共に元に戻します。
内側面も同様に行います。



- 12** 外側面の完成図です。



- 13** カバー前側に付いているベルトを、シート裏から背面側に通します。この時、スライドレバーやシート裏の配線をかわすようにして下さい。



- 16** カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。



- 14** 通したベルトと、5ページ5番で引き出した生地が付いているバックルを固定します。ベルトの固定方法は15番を参照して下さい。



- 15** ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締め固定されます。ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意ください。

Step 2

1 列目助手席座面の装着方法



- 1** カバーをシートの前から後ろに向かってかぶせます。
また、カバーの加工穴からシートを跳ね上げる為のストラップを取り出します。



- 4** カバー両側面から出ているひもを、シート裏で固定します。
ひもの固定方法は21ページを参照して下さい。



- 2** シートを跳ね上げ、カバー前後に付いているベルト同士を固定します。



- 5** 全て固定すると図のように仕上がります。



- 3** ベルトは図のシート固定用穴と、傷防止用の出っ張り部分にかからない様にして下さい。
カバー背面側の生地裏に付いているマジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。



- 6** カバーのラインを整えて、1列目助手席座面の完成です。

Step 3

1 列目運転席背もたれの装着方法



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



- 1** 始めに、アームレストをシートから外します。
アームレスト側面に付いているプラスチックのフタを、ヘラ等を使用して外します。



- 2** ソケットレンチ（12mm）を使用して、アームレストを外します。



- 3** シートバックテーブル装備車はテーブルを外します。
ソケットレンチ（10mm）を使用し、6か所のボルトを外します。



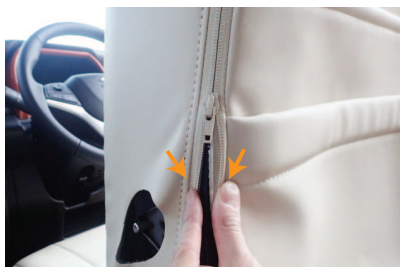
- 4** ファスナーを開き、カバーをシート全体にかぶせます。



- 5** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



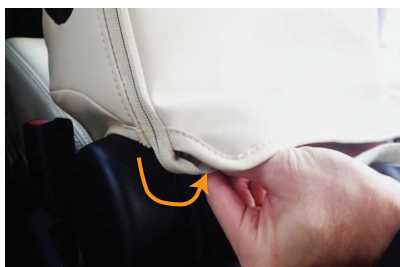
- 6** 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



7 生地を内へ寄せながら、ファスナーを閉じます。



10 台座を取り出すと図のように仕上がります。



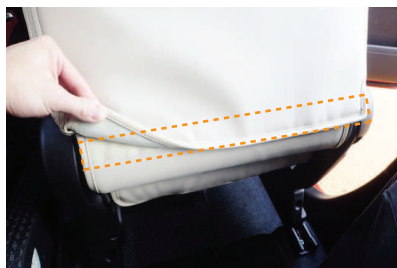
8 ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。
ファスナーを閉める際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとする、ファスナーが破損する恐れがあります。



11 カバーをシートに馴染ませます。
図のように、①～③の手順で、カバーの上から下に向かってシフを寄せ、寄せた生地を9ページ6番と同様に背面から引き出します。



9 カバーの加工穴からヘッドレストの台座を取り出します。
本革を使用したカバーは、生地が伸びにくい為、台座を取り出す際に生地が裂ける場合があります。台座に隠れない程の裂け目が入らないようにご注意ください。

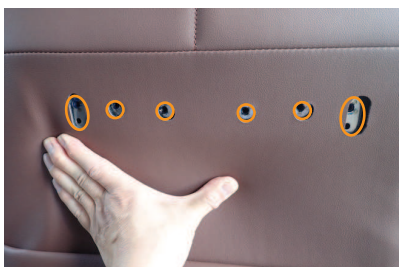


12 引き出した生地についているマジックテープと、カバー背面下部の生地裏についているマジックテープを固定します。



注意

10P▶ サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。



- 13** シートバックテーブル装備車は取り付け完了後、カバー背面の加工穴と、テーブル固定用のボルト穴の位置が合っていることを確認して下さい。
穴位置が合っていない場合は、カバーを調節して穴位置を合わせて下さい。



- 14** テーブルを外した時と逆の手順で戻します。



- 15** テーブルを固定すると図のように仕上がります。



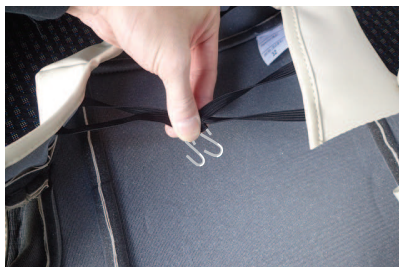
- 16** サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。



- 17** サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。
助手席背もたれも一部形状は異なりますが同様の固定方法で取り付けます。

Step4

2列目座面の装着方法



- 1 始めに、カバー両側面の付け根に付いているゴムに、付属の金属フックを取り付けます。



- 4 カバーの加工穴からシートベルトバックルを取り出します。



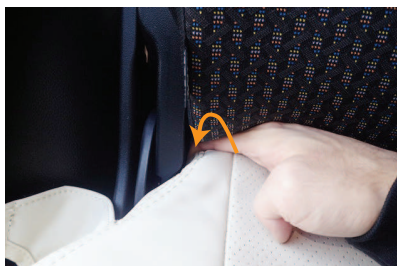
- 2 カバーをシートの前から後ろに向かってかぶせます。
※この時、カバー内側面に付いているプラスチックフックでシートを傷付けないようにして下さい。



- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 3 カバーをシート全体にかぶせます。



- 6 シート付け根の角にしっかりとカバーをかぶせて下さい。
また、1番で金属フックを付けた2本のゴムを隙間からシート裏に通します。



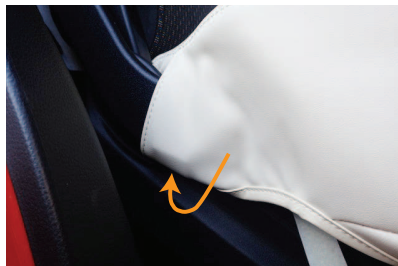
- 7** 12ページ6番でシート裏に通したゴムをシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。ゴムの固定位置に指定はありませんので、程よくテンションの掛かる位置に固定して下さい。



- 10** カバー外側面に付いているプラスチックフックを生地と共に折り返し、純正表皮が固定されているフックの上から固定します。



- 8** 12ページ5番で入れ込んだ生地についているベルトを、シート裏から前側に通します。



- 11** プラスチックフックを固定すると図のように仕上がります。



- 9** 前側に通したベルトと、カバー前側に付いているバックルを固定します。シートを一番前にスライドさせることでシート裏のスペースが広がり、作業が行いやすくなります。



- 12** カバー外側面に付いているマジックテープを側面からシート裏に回し、図のように金属部分に巻き付けて固定します。



- 13** カバー内側面に付いているプラスチックフック2個を生地と共に折り返し、シートのフチに引っ掛けて固定します。



- 16** カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。



- 14** プラスチックフックを固定すると図のように仕上がります。



- 15** ヘラ等を使用し、シートベルトバックルの周りの隙間に生地を入れ込みます。

Step 5

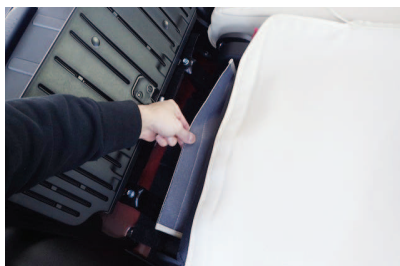
2列目運転席側背もたれの装着方法



- 1** ファスナーを開き、カバーをシート全体にかぶせます。



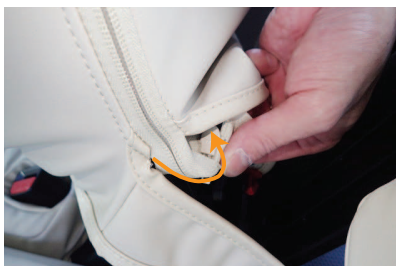
- 2** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 3** 背もたれを倒し、背面側から入れ込んだ生地を引き出します。



- 4** 生地を内へ寄せながらファスナーを閉じます。
ファスナーを閉める際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 5** ファスナーの端はカバーの内側に入れ込みます。



- 6** カバー内側面から出ている生地（長いマジックテープ）を純正表皮の中を通して反対側から取り出します。



- 7** 純正表皮の中を通したマジックテープと、反対側の生地には付いているマジックテープを純正表皮の内側で固定します。



- 10** ドライバーを使用し、シート背面のスライド用ストラップの固定を緩めます。完全に外してしまうと再度固定するのが難しくなる為、緩めるだけにして下さい。



- 8** 15ページ3番で引き出した生地が付いているマジックテープと、カバー背面下部の生地裏に付いているマジックテープを固定します。



- 11** ヘラ等を使用し、スライド用ストラップの隙間に生地を入れ込みます。全て入れ込んだ後、ネジを締め直します。



- 9** カバーの加工穴からヘッドレストの台座を取り出します。



- 12** ドライバーを使用し、シート肩口のリクライニング用レバーの固定を緩めます。完全に外してしまうと再度固定するのが難しくなる為、緩めるだけにして下さい。



- 13** ヘラ等を使用し、リクライニング用レバーの隙間に生地を入れ込みます。



- 14** 全て入れ込むと図のように仕上がります。生地を全て入れ込んだ後、ネジを締め直します。



- 15** カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

1 列目ヘッドレスト



- 1 カバーを半分程度裏返し、ヘッドレストの先端までしっかりとかぶせます。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前になります。



- 4 プラスチックフックはカギ状になっているプラスチックに板状のプラスチックを、生地と共に折り返して挟み込み固定します。



- 2 カバーを左右交互にずらし、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 5 プラスチックフックを固定すると図のように仕上がります。



- 3 カバー前後に付いているプラスチックフックを固定します。プラスチックフックの固定方法は4番を参照して下さい。



- 6 カバーのラインを整えて、1 列目ヘッドレストの完成です。

2列目ヘッドレスト



- 7** 2列目ヘッドレストは、ヘッドレストの前から後ろに向かってかぶせます。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前になります。



- 10** カバー前後のプラスチックフックを固定します。



- 8** ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 11** カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。



- 9** カバー左右の生地についているマジックテープと、カバー前側の生地裏についているマジックテープを固定します。

Step 7

アームレストの装着方法



- 1 カバーを半分程度裏返し、アームレストの先端までしっかりとかぶせます。



- 4 アームレストをシートに戻します。外した時と逆の手順でボルトを戻します。



- 2 アームレスト全体にカバーをかぶせます。カバーを破らないように慎重に作業を行って下さい。



- 5 カバーの上からプラスチックのフタを閉じます。

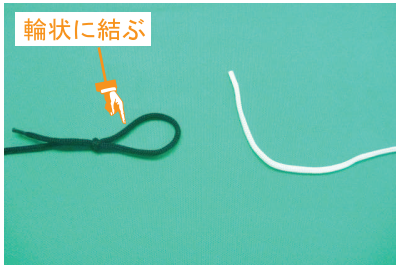


- 3 カバーをかぶせると図のように仕上がります。

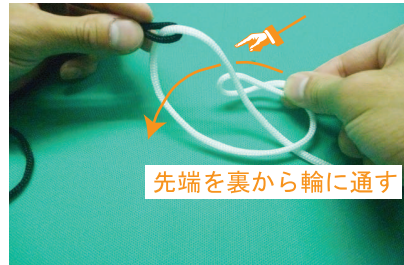


- 6 カバーのラインを整えて、1列目アームレストの完成です。

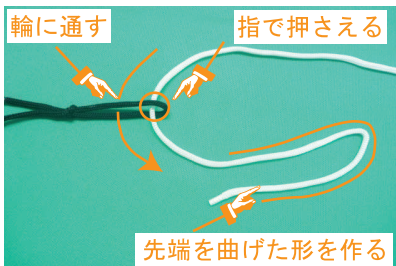
ひもの結び方



- 1 ひもの結び方です。
片方のひもを図のように輪状に結びます。
※図はわかりやすいように、色の違うひもを使用しています。



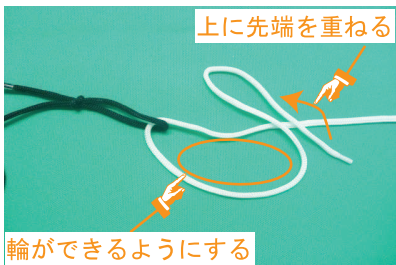
- 4 輪に、重ねた先端を裏から通します。



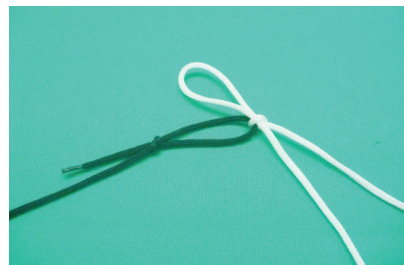
- 2 輪に、もう片方のひもを通し引っ張ります。
ひもが締まっている状態のまま、輪にひもが通っている箇所を指で押さえます。この後の工程は押さえながら行って下さい。
また、通したひもの先端を図のような形にします。



- 5 通した後、カバーから出ている方のひもを引っ張ります。
逆のひもを引っ張ると、ひもが抜けてしまうため注意して下さい。



- 3 曲げた先端を通してきたひもの上に重ねます。重ねると図のような輪状の形になります。



- 6

完成图



1 列目



2 列目

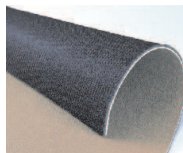


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。
- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。
- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…→ 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

- ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

- 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、柔らかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

- ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

- シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となる為しっかりと乾燥させてください。

※デニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816